



田人町の厄除けと健康を祈って 西小屋が無事に終わりました

年明け一発目のイベントとして、黒田唐沢地区の畑をお借りして、1月6日に上・下黒田の西小屋を行いました！

今年も田人育成会の保護者さま、子ども達、地域の方、ひとたびの方と一緒に、西小屋で販売するお餅を丸めたり、お餅など販売をする準備をすすめ約30名ほどの方が見守る中、ケガも事故もなく無事に行事を終わらせる事ができました。

今年の西小屋は、早めに火が消えるようにサイズも小さめにしたのですが、結局なかなか消えず、最後まで寒い中消化活動をしてくださった消防団の皆様、本当にありがとうございました！

また、昨年県外から西小屋作りをしてくれたボランティアが、旦那さんを連れて参加してくれました。田人町の良さを体感して、これからも田人町に関わりたいたいと思う人を増やしたいと思います。

来年も上・下黒田の西小屋は継続させていただきます。これからも何卒よろしくお願いいたします。



親ばか一言日記



2か月が経ち指しゃぶりや目が見えてきたことで、顔を見ると笑ってくれるようになりました。かわいい。



轟々バチバチと燃え上がる西小屋。縁起の良いスタートが切れました



いわきの山を楽しむ 親子イベントを行いました！

昨年からいわき市内のインストラクターやライターさん達と市内の魅力を体験する場を作る計画を練っておりました。その初のイベントとして、1月22日(日)湯ノ岳山荘で参加者50名！「冒険ラリー」湯ノ岳(宝さがしゲーム)を行いました。

参加してくれた親子から「山遊びをしたくてもできる環境が少なく、今回参加が出来てとてもよかった」とお声を頂きました！今後、田人町の魅力を知ってもらうためにも、田人の山で遊べる場所がありましたらお声掛けいただけると嬉しいです！



写真右…右から僕・「福島スタディーツアーガイドの坂本さん」・「元ホールアース自然体験の馬場口さん」を中心にイベントを行いました。また、当日ボランティアとして、いわき応援チームENさん・田人町の方々・よっしーがお手伝いしてくれました！ありがとうございます。

写真左…挨拶の集合風景です。イベントの募集をかけてから半日で定員を超えました！貝泊の稲作でも参加してくれている泉の学童V.I.D.Aさんも参加してくれるなど、いろいろいやがやになりました！



最後の冬休み子ども預かりは、盛りだくさんでした！

12月23日から1月6日までの8日間、冬休みの子ども預かりを行いました。



←火起こし体験の様子



←玉ねぎ染めの様子



田人ワークキャンプ・ビレッジ基地での火起こし・ハンカチの玉ねぎ染め体験やひとたびの大掃除、お誕生日会、西小屋とイベントが盛りだくさんでした。特にワークキャンプ・ビレッジ基地ではイベントもさることながら二階のロフトやヤギたちに興味津々で基地自体をとて楽しんでおり、「あったかい感じとか、ぜんぶ好き！」と喜んでいました。

また、夏休みにインターンで来てくれたしゅん君や高校生のちあきさん、ゆうと君、ゆう君、れいなさん、あきと君も手伝いに来てくれて、とても賑やかで楽しい冬休みになりました！

子ども預かりの今後について

昨年7月のはろはろでもお知らせしていましたが、吉川の卒隊に伴う子ども預かりの存続について関係各所と相談を続けてまいりました。結果として今年度ももって事業を終了する事になりました。担い手不足や事業の収益性が見込めない事、サポート体制が構築出来ていない事が主な問題点です。ただ、子ども預かり終了後の放課後のあり方については、引き続き学校と相談してまいります。

なお、通常の子どもの預かりは2月末までとさせていただきます。卒業・お別れイベントを3月中に行う予定です。



琴水チャンネル



ふくしま海ごみネットワークシンポジウム

1月13日に小名浜のイオンモールで行われた【ふくしま海ごみネットワークシンポジウム】に参加させて頂きました。いわき市で清掃活動を行っている13団体の活動報告に加え、行政の事業内容や県外の事例発表等もあり環境問題について深く考える一日となりました。私は毎月一回田人町で行っている清掃活動【田人クリーン隊】の活動報告をし、海だけではなく人目の少ない山だからこそ不法投棄等が多い現状を皆さんにお伝えしました。ごみを捨てる人が減ることも大切ですが、それ以前にごみを捨てる人が減るよう発信や活動にも取り組んでいきたいと思えます。



田人クリーン隊 With ブンケンさん

1月の清掃活動には田人クリーン隊設立のきっかけをくれた福島中央テレビでお馴染みのブンケンさんが田人まで駆けつけてくれました。朝から皆さんのパワーをより一層感じ、気持ちのいい一日の始まりを迎えられました。今月のゴミ拾いも皆様のご参加お待ちしております！



ひとたびいちごフェアスタート

今年もこの季節がやってきました！

【ひとたびいちごフェア2023】

田人観光いちご園さんのいちごを使ったスイーツフェアです。今年のフェアのタイトルは「ダイエツトって何だっけ？」ダイエツトなんて気にしていたらこのフェアは楽しませんか！5月末（いちごがなくなり次第終了）頃までフェアは続きます。ぜひお立ち寄り下さい。



いちご串



安定のいちごサンド



初恋のフロマージュ



いちごのスムージーパフェ



沢山の方にインタビューをさせて頂きました。田楽田も気が付けば最終回です。今回は倉島が担当させて頂きます！最終回は私がいつも大変お世話になっていてこの二人にお話を伺って頂きました。最終回にして、ダブルインタビューです。

今回取材を受けてくれたのはひとたびと一緒に働いている、蛭田友子さんと遠藤ユリさんです。

二人は同じ年でひとたびでは主に厨房を担当しています。二人がいなければ今のひとたびはありません。それくらいお店にも地域にも欠かせない存在です。

友子さんは、元々植田出身で結婚を機に17年前田人に引っ越して来られました。今は、どこに行っても引っぱりだこの友子さんですが田人に来て最初の9年間は地域との繋がりが薄かったとおっしゃっていました。しかし、体協のバレーに誘われたことや、息子さんの保育園や学校での繋がりで今の地域との関係性が作られていったそうです。「田人は人が温かくて助け合いの文化がある。だからこそ何か手を差し伸べたいと思える。」そう話されていました。

遠藤さんは、生まれも育ちも田人。今の田人小中学校の校舎ができたときに入学したそうです。田人の好きなお店は？という質問には「杉山に雲の陰が流れる風景や壮大な自然、ゆっくり時間が流れているところ」とおっしゃっていました。その感性の豊かさが田人の良さを物語っていると感じました。小学校4年生の頃から自分でお弁当を作っていたそうで、その頃からの引き出しが今のひとたびのメニューに大活躍しています。

二人と一緒に働いていて本当に学ぶことが多いのですが、その中でも二人のストイックさにはいつも圧倒されています。

友子さんは小学校3年生からバレーを始め、小学生で全国大会へ中学で東北大会、バレーの推薦で高校に入学し、社会人になってもクラブチームで活躍なさっていたそうです。その志や姿勢をぜひ学生の皆さんへ伝えたいと思います。一つ一つが終わるときに後悔が残らないように取り組んでほしい。そして、今を全力で楽しんでほしい。

辛い時や悲しい時も笑って過ごしてればいいことある。どんなマイナスイメージも笑っていけばどうにかなる！」

そして遠藤さん。15、16年間、子育てをしながら3つの仕事をかけもち。毎日朝から晩まで走り回っています。そのパワーと強さには本当にいつも刺激をもらっています。遠藤さんは「悩んだり考え込んだりする時間があるならまず行動！」とおっしゃっています。時間があるから、思い悩んでしまう。しかしそんな時間を忘れるくらい仕事や家事に没頭すれば自然と笑顔の瞬間も増えるのではないかなと二人の姿をみて感じました。

いつも笑いの絶えない職場で、自然と「誰かの為に」を考えて行動している2人は本当に愛に溢れています。今後も地域に欠かせない存在になっていくこと間違いありません。蛭田友子さん、遠藤ユリさん貴重なお時間ありがとうございました！



HITO-TABI ひとたび通信

2月営業日

水木金土+第二・四日曜日

いちごフェア開催中です♪

HITO-TABI
住所：田人町黒田字唐沢35
TEL:070-2437-9633 (ご予約可)